5月29日 日曜日 28日発行
昭和30年西暦1955年
発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5 電話（代表）京（56）8646 （直通）販売（〃）0437 広告（〃）3995 編集局 港区芝田村町5の6 電話（代表）芝（43）1163 東京 振替貯金口座 170071
内外タイムス THE NAIGAI TIMES
第3110号 （昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認新聞紙第232号）（中華郵政台字第637号執照登記為第2類新聞紙類・内政内警証報復内台誌字第0136号）

天気予報 今晩 北東の風曇のち時々雨 明日 北東の風やや強く雨

あすの暦 5月29日・旧4月8日 日出 4.28 日入 6.49 月出 前0.06 満潮 前11.00 後11.55 干潮 前5.15 後5.05 （小潮）

予算折衝はじまる 民主党と自由党

焦点・産業公債に 両幹事長会談で妥協か


院内常任委員長室で開かれた民自両党予算折衝委員会

民主、自由両党の予算折衝委員会は廿八日午前十一時半から衆院常任委員長室で開かれ、本予算案に対する自由党の組替案を中心に本格的折衝に入った、これに先だち自由党は総務会を開き、九名の委員候補中、塚田副幹事長と平井参院幹事長の両氏をはずして水田政調会長以下七名の委員を正式に決めた、しかし平井、塚田両氏も正式委員に変ってでる建前をとることとし、廿八日は松野氏に変って塚田氏が出席した、また民主党は七委員が初会合し折衝に臨む段取りを打合せた

折衝委員会には民主党側清瀬、福田、松浦、今松、中曽根、早川、三浦、自由党側水田、西村、塚田、田中、大橋、小坂、高橋の全委員が出席、まず、自由党側から組替案の内容を詳細に説明、それに対し民主党側から質問を行い内容を検討した

折衝は連日行うが、その焦点は産業投融資公債四百卅億円の発行問題にしぼられそうで、組替案という形式の問題については自由党はあまりこだわっておらず、岸、石井両党幹事長会談で自由党側は最終的に譲歩するものと見られる

公債発行については政府与党はその金額の如何にかゝわらず考え方に根本的に反対であるとし、絶対応じないと強い態度をとっている

廿八日午前一万田蔵相は小石川音羽の私邸に鳩山首相を訪ねてこの点を強調、さらに同十時過ぎ院内で鳩山首相、岸幹事長が会談した際もこの方針が確認された、従って公債問題に対し自由党がどう出るかが交渉のヤマになりそうである

政府与党はこの点で自由党の譲歩を得られれば五、六十億円の修正には応じてもよいとの意向であり結局

一、小幅共同修正

二、無修正、臨時国会補正による自由党の要望織込み

のいずれかで民自両党予算折衝を妥結させたい意向である、政府与党は来る卅一日までには折衝の結論を得て六月二日には衆院を通過させ、六月中の成立を期しているが、卅一日までに結論を得ない場合には折衝にかかわりなく本予算案の委員会採決を求めるとの強い態度をとっている

両党予算折衝委員

◇民主党＝清瀬一郎（政調会長）福田赳夫（同副会長）松浦周太郎（同）今松治郎（国対副委員長）早川崇（総務・予算委員）三浦一雄（同・同）中曽根康弘（副幹事長・同）

◇自由党＝水田三喜男（政調会長）松野頼三（副幹事長）田中伊三次（国対副委員長）大橋武夫（同）西村直己（政調副会長）小坂善太郎（予算理事）高橋衛（政調財政金融部長）

買付額一億ドル 余剰農産物協定 けさ仮調印

【ワシントン廿七日発＝共同】一億ドルに上る日米余剰農産物交渉は廿七日正式に妥結し、同日午後四時半（日本時間廿八日午前五時半）国務省で関係者立合の上、日本側島公使、米側マクラーキン国務省東北アジア局長によって仮調印された

一億ドルのうち千五百万ドルは贈与、八千五百万ドルは売却のかたちとなるが、米当局者は売却分全部の積取りには約四―五ヵ月を要するものと推定している

今回仮調印されたのは「日本と米国との農産物協定」でこのほかこれを運営するため借款、購入、贈与の三つについて取決めがあるが、これは目下交渉中である、借款取決めはワシントン輸出入銀行を相手として結ばれるが、技術的調整を必要とするので取決めの調印は農産物協定の発効後となろう

交渉最大の難関となった借款方式は結局円買付、ドル借款の返済は「外貨事情により日本側が自主的に決定するドル又は円による返済」に落着き、世界銀行もこの方式で満足した、金利はドル払いなら年三分、円払いは年四分である

八千五百万ドルに上る対日売却は米国現金会計年度（五四年七月―五五年六月）の余剰農産物処理計画のうち最大のもので、米側業者はかねて当地での日米交渉を注目していた

審議会で検討 労相 労基法改正で答弁

参院予算委員会

廿八日の参院予算委員会は午前十時卅八分開会、前日に引続き鳩山首相に対する総括質問を続行したが、質問に入るに先だち木村禧八郎（労）佐多忠隆（左社）の各氏から「本予算案の各目明細書の提出がない以上は審議ができない」旨を発言、これに対し森永主計局長から「本予算案の場合は至急提出する、暫定予算案の場合は恒例に従って提出しなかったので承認願いたい」との答弁があって質疑に入った

豊田雅孝氏（緑）現行労働基準法は大企業とその労働者を対象とし農林水産業では女子、未成年者就業に大幅に例外措置がとられている、中小零細企業に対し農林水産と同様例外を設ける考えはないか

西田労相 中小企業の方面で労基法が実状にそぐわないという意見があるのは事実だ、しかし労基法改正は国際的影響もあるので政府としては学識経験者による審議会を設け、労基法を検討してもらう準備中である

豊田氏 大企業の不渡りなどから中小企業保護のための保険制度を設ける考えはないか

一万田蔵相 中小企業の困難を保険制度によって救うのがいいかどうか検討しなければならない、市場問題の解決の方が重要だ

石橋通産相 保険制度は技術的に困難で十分研究を要する

国防会議法案 直ちに国会提出

政府は廿八日の持回り閣議で国防会議設置法案を決定し、直ちに国会に提出する、同法案はさきの第十九国会で当時の自由、日自、改進の三派折衝で一応の結論を得た「要綱案」を骨子としたものであり、同要綱案中で空白となっていた問題点の閣僚外議員の数、任期については「五人以内三年」としている、しかし政府民主党はこの数字は一応の基準で、こんどの国会審議を通じて自由党との話し合いの結果、変更されることもありうるとの態度である

日ソ復交促進決議 両社共同提案

左右両派社会党は廿八日午前、それぞれの国対委で同日の衆院外務委員会に「日ソ国交回復促進に関する決議案」を両社共同提案とする方針をきめた、これに対し自由党は反対の態度をとっているが、民主党は賛成せざるを得ない立場にあるので、外務委での決議は成立するものと両社ではみている なお両社は外務委で決議が成立すれば衆院本会議でも同様の決議を行いたい意向である

全権団の先陣着英

【ロンドン廿七日発＝共同】日ソ交渉に当る日本側全権団の随員高橋外務省条約局次長ら八名は廿七日空路ロンドンに到着、ただちに在英ソ連大使館当局と連絡、打合せを行った

保守党68議席リードか 英選挙最終結果

【ロンドン廿七日発UP＝共同】英総選挙の開票はあと二選挙区を残すだけで保守党の勝利は確定したが、残る二選挙区は開票結果が遅れるので最終結果が判るのは廿八日以後になる、しかし専門家筋では結局保守党は労働党を六十八議席リードし、下院に占める各党議員の数は次のようになると予想している

保守三四五、労働二七七、自由六、および諸派七、無所属（議長）一、計六三〇

英総選挙開票結果

28日10時現在（日本時間）

	新議席	旧議席
保守党	343	321
労働党	277	295
自由党	5	6
無諸派	3	3
計	628	625



世相風誌 神と獣の間

この世で いちばん 神聖な
ことは 結婚であると いう
この世で いちばん みぐるしい
ことも 結婚であると いう
どちらも 同じものだけど
リクツのつけようで 相談所
愛の女神の 使者となり
ケモノの すみかにも 化ける
なかには 資本が タダだから
取引会社を セツリツし
愛情を 切売り さばいてる
神聖な 株主も あると いう
なんと この世は ヘンテコで
神と ケモノの 使いわけ
神と ケモノが 同じもの

（近藤 東）

尼僧

粋人酔事

人の噂も七十五日というが、昨秋、奈良の名刹中宮寺の門跡だった一条尊昭尼が、年下の大学生との恋に目覚めて、寺から出奔した事件も、今ではすっかり人々の脳裏から消えようとしている。[illegible]

[illegible]ろいろ話をしてあげてよ」

というわけで、誘いだされてノコノコでかけることになった。行ってみると、中宮寺とゆかりの深い元公爵の一条実孝氏が、七十六とはみえぬ赤銅色の元気な顔で、ポツンと一人女性の中に混じっていた。これも私同様おだされてきた口である。

[illegible]とニコニコしながら始めたんだから愉快だ。照伝尼もこれに負けずに、といっても品のいい調子で、

「菅公以来、道明寺では鶏を飼わなかったのですが、いまでは飼っています。ただし、トキを告げるオンドリは敬遠し、メンドリばかり飼っているんです。メンドリだけでも卵は生みますからね」

いかにも尼寺らしい、味のあるユーモアたっぷりな話で応酬する。

照伝尼は六十歳近いが、一見したところ卅台にしか見えない。これも、一切の煩悩を去って清らかな生活をしているからに違いなかろう。だが、その傍に座っている弟子の照瑞[illegible]

「人間である以上、男に対する関心は持つもんでしょうな」

わざと図々しい質問をしてみた。すると照瑞尼は、美しい顔を毛ほども動かさずに、

「おっしゃる通りです」

「その時は、どうするんですか」

すかさず訊いたら。

「観音様がご座います」

と答えたのである。私はその時、七十二歳で一生不犯の生涯を終った浅草寺の大森亮順大僧正に生前、おなじことを尋ねたとき、大森師が居間の観音様を指さして「そのときは一心にお参りします」と答えられたことを思[illegible]

[illegible]結婚するんですね」

[illegible]はニッコリとうなずい[illegible]しい笑顔だった。


【写真は六条照伝尼】

金川文楽

国際問題などで意見を交換 ソ連・ユーゴ会談

モスクワ放送廿七日の報道によればベオグラードで行われた同日のソ連、ユーゴ首脳会議の終了後つぎのコミュニケが発表された

廿七日のソ連・ユーゴ会談ではユーゴ側からチトー大統領のほかカルデリ、ランコヴィッチ、ヴォクマノヴィッチ各連邦行政会議副議長およびヴィディチ駐ソ大使らが、ソ連側からフルシチョフ党第一書記、ブルガーニン首相、ミコヤン第一副首相ら次官らが出席した（ACH＝共同）

市況 後半引締る

休日控えの市場は材料難から相変わらず閑散低調にはじまったが民、自両党の動きも幾分予算折衝の見方から市況は期待がもてるとの見方から売物薄とあいまつて後半にかけてジリ高をたどりやや明るい場面となつた、特定株はマバラ商いながら主力株中心に押目買散見されて軒並一、二円方引締り、雑株方面も日銀が日銀法改正をはやして僅かな買物に二百円高を付けたのをはじめ西武、三井不、三菱地所、東洋工など地場株は四円内外続進し全般も優良株中心に小高いものが多かつた

▽高い株＝日銀二百円、明治乳 西武五円、菱地所、三井不、日曹製作、北海曹、日立造四円

東京株式仲値

□新株落 △配当落 （28日終値）

特定銘

東海上	272	東高圧	116	旭化成	320	カボン	49
郵船	54	昭電工	83	山陽パ	96	三井物	135
新三菱	90	日本曹	75	日本パ	92	第一物	97
日清紡	266	旭電化	70	国策パ	98	白木屋	249
味の素	284	三菱造	73	東北パ	113	高島屋	79
三越	277	三井造	105	大東紡	94	日活	82
平和不	195	三菱重	60	商船	50	松竹	197
三井金	109	石川重	88	三井船	45	東宝	1257
三菱金	83	[illegible]工	133	飯野海	41	大映	173
日鉱	78	東洋ベ	111	西武	355	日本粉	122
住友金	92	日立造	49	藤田興	211	日清粉	150
三菱鉱	41	浦賀	45	東京ガ	66	日本ビ	145
古河鉱	60	日平	23	東電	428	朝日ビ	172
同和鉱	108	古河電	72	日銀	1870	キリン	191
住友炭	56	日立製	69	東銀	80	宝酒造	83
三井山	56	東芝	65	三井銀	70	[illegible]	218
北海炭	53	三菱電	85	富士銀	90	明糖	110
東邦亜	60	小松	60	日証金	85	[illegible]糖	119
帝石	63	日本光	138	安田火	108	野田醤	192
日石	94	キヤノ	144	大正海	85	[illegible]	276
昭和石	96	東京光	—	住友海	76	明菓	166
東燃	112	東洋紡	131	千代田	—	日水産	76
三菱石	106	鐘紡	112	鋼管	63	昭和産	86
大協石	113	富士紡	108	日製鋼	60	東洋[illegible]	72
日東化	72	大日紡	77	八幡鉄	51	合同酒	104
日産化	72	日東紡	60	富士鉄	50	三楽	82
三菱化	98	片倉	34	神戸鋼	55	大阪糖	149
三井化	108	東邦レ	104	日特鋼	125	王子紙	204
昭和電	107	[illegible]	64	日軽金	173	十條紙	214
東合成	110	中[illegible]	55	日金工	55	本州紙	87
三共薬	139	帝人	120	日セメ	124	三菱紙	85
信越化	80	東洋レ	170	磐城セ	230	北越紙	49
		三菱レ	121	小野田	77	三井不	759
		倉レ	81	横浜ゴ	206	三菱地	486
				旭硝子	139	三井倉	80
				富士写	117	澁沢倉	82
				小西六	106	東洋埠	—

メノン氏米大使と会談

【ニューデリー廿七日発AP＝共同】十日間の北京訪問を終って廿六日ニューデリーに帰ったメノン・インド国連代表は廿七日インド駐在の英高等弁務官代理およびクーパー米大使と個別的に会談した

カンカン踊りのジーナ



イタリアの肉体女優ジーナ・ロロブリジーダは近作「ローマ随一の美女」ではフランスのカンカン踊りのスター、リナカヴァリエリに扮するが、写真はその豪華な衣裳をつけたロロブリジーダ、もつともこのときの一スナップがローマの或る雑誌に使われ、これをジーナの夫君が怒つてこれを撮影した通信社に抗議を申込んだというもめごともある（UP＝サン）

内外抄

保守党の大勝でイーデン・ブーム。日本でも「合同」で保守の花を咲かせる夢を見るがよい。

◇

松本全権らきょう出発、「超党派外交」の後押しで強腰にならなきゃ熊とは相撲になるまいよ。

◇

「余剰農産物」仮調印、払う金を農業開発に融通できるよう融通を利かせてくれるは有難い。

◇

「解散」の宝刀をちらつかされあわてて「組替にはおよびません」野党度胸のない自由党。

◇

全関東のビール労組が賃上げ要求で一泡吹かせようとスト。資本家側、のまずばなるまいて。

なにがい川柳 吉田絆司選

目に青葉ガイド史跡へ澄んだ声 市川 小次郎
集団で放した責立追い回し 千代田 南 渡波
ラーメンに束も円はずす伊達眼鏡 新宿 斎藤 耕月
女房の二の腕太し殺虫器 板橋 土曜
自殺する気の弱さでも収賄し 立川 山口
競輪と競馬で多額納税者 品川 蟠 牛殺館

七月暫定予算避ける 自、財界代表に組替案説明

自由党の水田政調会長、高橋衛同財政金融部長、愛知揆一の三氏は廿七日午後東京都内某所で石川経団連会長をはじめ佐藤喜一郎、河合良成、植村甲午郎、島田勝之助ら財界首脳部十数氏と懇談、公債発行を中心とする自由党の予算組替案について説明懇談した

財界側からは組替案は保守合同を阻止する吉田派の意図によるものではないか、組替要求は予算案否決、内閣不信任を意味するのではないか、公債発行政策は現在の経済界の実情に適さないのではないか、などの質問が出た、これにたいし水田政調会長から

一、組替要求について民主党との間に合意が成立すれば、財政金融政策の面で保守党間に事実上の政策協定が生れたことになり保守合同へ一歩前進したことになる、自由党としては今月中に民主党との話し合いをつけ、七月暫定予算は絶対に避けたいと考えている、予算案を否決したりする考えはない

一、組替要求の形をとったのは自由党政権当時野党からしばしば無責任な修正を受け、執行の責任を十分に果しえなかったことから国会が増額修正を行うべきではないとの考え方にもとづくものである

一、今回の公債は赤字公債ではなく産業投資公債である、オーバー・ローン解消の時機を若干遅らせるようなことがあっても拡大均衡の線をこのへんで打出す必要がある、利回りについても六分公債とし法人税を免税すれば年一割となり少し高すぎると考えているくいだ

政界春秋 逆流するものは敗る

木村儀兵衛

民、自両党とも、保守結集の大方針を決定しながら、徒らに一年前の〝裏返し局面〟を展開しているのは何故か。かれらが利己的で、感情的で、自己が主導権を握る以外、歩み寄りを見せないからだ。スキさえあれば相手の足をカッ払ってやろうというのだ。物をまとめようとせず、こわそうという作用が強すぎるからだ。

かれらとは誰か。大麻唯男（緒方絶対反対）北村徳太郎（緒方反対）三木武夫（幹事長をネラう）重光葵（次期総理を夢みるが、肚の底から誰も相手にしない）広川弘禅（一万田総裁を目指す）松村謙三（コチコチの旧改進党本位、保守両党交代論者）氏らと、大久保留次郎、花村四郎の現閣僚、植原悦二郎、星島二郎、牧野良三氏ら、鳩山時代を長引かせ、或いは鳩山氏によって浮ぼうという底意ある諸氏が、鳩山氏を利用しようという者、それらにつながる一連を指すのである。

自由党では吉田茂氏を中心に廿名ばかりの強力なアンチ緒方派を指すのである。だが、これらの勝手な動きや、反省なき放言も次第に清算される時期が近づいてきた。蜂の巣をツッツいたような乱雑さを見せながらも、民、自両党執行部の〝保守結集・中央突破作戦〟が強力に着手され不退転の決意と動きを見せ始めた。

民主党のそれが積極的であり自由党が用心に用心を加え、消極的動きの相違はあるが、保守結集を断行することが、世論に答え、内外国難を救う道であり名分にかなうユエンを信ずるからである。「やろうと決心すれば、政策で話合い出来ぬものは一つもない。閣外協力、連立政権、保守合同、どの道を選んでもいい。コチラは幅は広いのだ」（岸幹事長）「連立政権はいけない。同じやるなら一挙合同だ」（緒方側近）緩急の相違はあっても、これで押し進もうとしている。三木武吉氏らに引ずられて、今年中は愚か、来年三月頃までグズついて解散という馬鹿を見せられる懸念もあるから、実体をよくよく見定めよ（林譲治氏）

時期はいつか、鳩山首相が引退と同時である。三木武吉氏の存在価値は必要な時、鳩山氏を引下げるにあり、その実力と確信とを持つ。日ソ交渉の成行如何にもよるが遅くも来年度予算編成前後、早ければ秋頃見当である。

出来得る限りのベストはつくすが、吉田一派や、旧改進党のかたくなな救いようのない者は両袖を斬ってもやろう。数が不足するようなら〝改めて世論に問おう〟というところに前進しようとしている。部落々々で勝手なイキリ立ちを見せてはいるが、世論の支持をたのみ、名分のあるところに押し進もうと、緩漫ながら前進気配を見せている。とはいいながら、大騒ぎになるキザシもあるなア。

青春無宿（19）

大林清 作 高原健二 画

銀座の奇蹟（十三）

兆子の話も、狐を馬に乗せたようなところがあって、どこまで信用出来るか疑問だった。

次郎がいいかげんに、聞き流しているうち、土橋通りへ出たところで、兆子は足をとめた。

「お兄さんお勤め？」

「いいや」

「そうでしょうね、そんな風には見えないわ」

兆子は今更のように、次郎の服装へ眼を走らせて、

「今なにをしていらっしゃるの？」

「なにもしていない」

説明する必要もないので、次郎がただそう云うと、

「そう、いいお身分ね」

せんさくもせずに、あっさりうなずいて、

「だったらどこかへ遊びに行きましょうよ。あたくし前からお兄さんと、一度会ってみたいと思っていたの。最後はたしかまだ戦争中で、お兄さんが中学生の制服を着ていらした頃よ。それから十年ぐらいになるけど、ずっと忘れなかったわ。いつかお目にかかれるだろうと思って、その時の空想をするのが楽しかったの。だから今日だって、一と目でわかったし、その途端に、ちゃんと前からあそこでお会いすることに、きまっていたような気がしたのよ」

兆子は白昼であることも、人通りのはげしい場所なのも意に介さず、情感にうるんだような眼で、次郎を見まもるのだ。

次郎は前をふさごうとする兆子をよけてあるきだした。

「ねえ、夕方ぐらいまでつきあって下さったっていいんでしょう」

兆子は追いすがって腕をとった。

「用があるからまたにしよう」

「嘘、なんにもしていないいって、おっしゃったじゃないの」

次郎は女のしつこさには、油の悪い中華料理を食べたように、胸が悪くなるたちだった。ものを云うのも面倒になって、すがりつく兆子をひきずりながら足をとめない。

「じゃまた別な日に会って下さる？」

兆子はやっとあきらめたらしく、来かかったタクシーを手をあげてとめた。

「いらっしゃるところまでお送りするわ」

「近いんだから僕はあるいて行く」

「いいじゃないの、せめて送らせて下さるくらい」

すがりついた腕をはなさずに、次郎を車の中へ引き入れてしまった。

西銀座まではひとまたぎの距離だった。車が次郎の指示通り万宗の角でとまると、兆子は眼ざとく、横丁の入口に出ているアパートの看板をみとめた。

「アパートにいらっしゃるのね、お部屋までついて行っちゃいけない？」

「客があるから失敬する」

次郎は振り切るように降り立って、外側からドアをしめた。

「じゃ今日はあきらめる、そのかわり、いつおしかけて来るかわからないわよ」

動きだしたタクシーの窓から、兆子はとどめを刺すように云うのを忘れなかった。

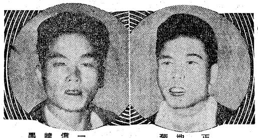
次郎は見むきもせずに、せまい横丁をはいったが、同時に銀六アパートの玄関を飛び出して来た東藤の姿が眼に映った。

「お帰んなさい、異状なしでしたが、よく顔を見る愚連隊が三人、西五丁目のスカーレットってバーの前まで、女の人たちのあとを見えがくれにつけて行きましたよ」

東藤はあたりかまわぬ声で報告した。



犯罪兄弟ものがたり


黒崎信一　菊地正

菊地と黒崎

血の流れに悪環境

こうして生れたやくざ兄弟

実父は酒乱、前科もち 義父は妹たちを偏愛

悲惨な幼時・小学校も中退し奉公へ

ニュースの眼

囚人の脱走そのものは珍らしくないがこんどの死刑囚菊地… 兄黒崎信一と探偵小説もどきの綿密な計画のもとに実行され、しかもその兄がまた、前科二犯のお尋ねものとあって、世間はこの異常性格の兄弟にいまさら驚異と奇異の眼をみはった、何がこうした性格破たんの兄弟を生んだか、この事件を通して彼らのかんきょう、生い立ちなどを調べてみる

◇菊地正(二八)は大正十五年十月廿日の生れである、栃木県塩谷郡北高根沢村桑窪の農業黒崎長一さんの次男、二歳の時母親ヨデさん(五三)に連れられて菊地家に入籍した、実父長一さんは村でも評判の放とう者で酒ぐせ悪く、女関係も多く強盗を含む三犯の前科持ちだったというから、母が離婚した事情もうなずける

◇菊地と黒崎はこの父親の血を受けついだものだろう、義父の菊地仙松さん（既に死亡）は貧しい小作農で正の異父妹たみ、こう、もとの三人を偏愛、彼は欲しいものも買って貰えずに幼少の頃から悲惨な逆境にあった、正は小学校四年を終ると待構えていたように近所に奉公に出され、小学校も満足に出して貰えなかった

◇この義父に育てられた菊地は無口で陰うつな性格となり、内向性で普段何を考えているのか判らないといった男で、腕力が強く凄く恐い男といわれ、仙松さんの存命中にも時おり喧嘩しては〝殺してしまう〟と怒鳴ったりしていたという

十八歳で海軍に志願するまで日光の精銅所に勤めていた、この時の知識が役立って後に小菅に入れられたとき鉄格子を握っただけで鋳物であることを一目で見破り脱獄成功を確信したという

海軍では横須賀の砲術学校を卒業魚雷の射撃手であった

◇復員後農地解放で入手した一町三畝の田畑を耕すかたわらヤミブローカーの群に投じ、金回りがよくなると他の農村青年達とは異り、母や妹に着物、帯などを買い与えたり、母の眼病治療に大金を費したり、貧しい家庭に育った彼としては当然のことながら、金に対する執着は強く、コツコツ貯えるなどして酒、女に費消することはなかった、従って彼は爆発的に〝凄い恐い男〟であった反面、村人の受けもよく、廿七年二月ごろには村の青年団長をしたこともあった

たまたま仲間に誘われ宇都宮競輪に行ったところ、大穴を当てて以来病みつきとなり、先天的に持っていたトバク好きの性質が芽生えたといわれる

◇一方、菊地と黒崎が相当な知能犯であることは今度の脱獄で証明された、菊地は前に村の青年団長をやっていたときから、農耕法の改良などで村の青年達をアッといわせるようなことを考えていたというし、黒崎もかつては、警視庁の通信技官をつとめた男だ、その上一年がかりで菊地は、獄内にいて一途に脱獄のことだけを考えていた

…ば必ず捕ることを百も承知で逃げたのではないかーという推測も生れて来る

◇菊地も黒崎も、捜査本部の裏をかかず、終始捜査の網の中で逃げまわり、捜査本部の思わく通り実家に立ち回ったところを逮捕された

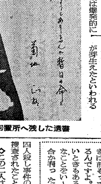
…さんや妹モトさんに対する菊地のあの病的なまでの思慕といい、親分肌の性格といい、すべての謎は菊地一家の私生活の奥に秘められているといえるようだ

利用し合い憎み合う

◇黒崎もまた父長一さんが貧しい小作農で酒乱であったところからその生活環境は極めて悪く、十七歳のとき警視庁通信技手として就職する頃までは父が存命中だった理由もあって、菊地家とは交際がなかった、その後黒崎は台湾に出征、復員後これまたヤミブローカーとなり、菊地らと組んで窃盗を働いたこともあり、栃木の一家四人殺し事件の際には犯人として捜査されたこともある

◇この二人は互に利用し合うくせにお互に気を許したことがなく、一家四人殺しの犯人として、菊地が入所後の昨年五月ごろには菊地家の財産乗取りを策して、異父で菊地が最も愛した異父妹もとさん(一九)にいい寄り暴行した、その頃もとさんの姉こうさん(二三)に養子が決り入籍したので、菊地家乗取りに失敗した黒崎は、当時働いていた栃木県川治のダム工事現場からダイナマイトを盗み出し、もとさんとダイナマイト無理心中を図って果さなかった、この辺にも菊地の脱走した真の目的を解くカギがあるかもしれない

◇菊地逮捕の知らせを受けたとき拘置所職員の中にも「良く菊地は黒崎を殺さなかった」とむしろ不思議そうに洩らした者もおり、取調べの係官も「あの兄弟は全く判らない、菊地は菊地で兄に対し〝殺せばよかった〟と憎悪の言葉を洩す、黒崎は黒崎で弟は何を考えてるか判らない、恐しい男だと互に憎み合っている」と述べている


拘置所へ残した遺書


語る大下宇陀児氏（上）金子準二氏（下）

兄弟の性格と心裡解剖

明らかに遺伝性犯能

頭がよく親分肌の菊地、小悪党の黒崎

語る 大下宇陀児氏 金子準二氏

ところでこのような忌わしい悪の鎖で結ばれた〝菊地兄弟〟とはどんな人間かー身長一米六〇、体重六十五キロの菊地が、熊のようにのっそりとした親分肌の人間であるのに比べ兄の黒崎の方は、山犬のようないかにも小悪党といった感じの男で、すこぶる対照的だが、二人に共通な点はともに前科のある父親の血を受けついでいるということだ

◇犯罪者には普通二つのタイプがあるといわれている その一つは環境がどんなによくても先天的に犯罪を犯す素質があるものと、もう一つは環境の悪さにいじけて、犯罪に陥るものの二つだ、菊地と黒崎の場合は、他の妹たち（こうさん、もとさんなど）とは違い、明らかに前者で、遺伝の法則が〝菊地兄弟〟を生んだといえるわけ、しかも菊地は貧農の家で育ち、家庭的にも〝連れ子〟のひがみをさんざん味わい、悪環境の中で成長しているのだから、その素質はなおさら助長されていたことにもなる

◇この点について、犯罪心理学の権威、昭和医大教授金子準二氏は次のように語っている いったいに先天的に犯罪者としての素質のあるものは、野心家が多く、周囲の環境が自分の思い通りにならないと次第にイチかバチかの賭博性を好むようになる、それでも目的が充されないと、今度は罪を犯してでもという気になる…その犯罪の種類は、犯罪者の性格によって違っては来るが…

この賭博性のもっとも大きなあらわれが、菊地の場合には、母親ヨデさん(五四)の眼の治療費と結婚資金欲しさにやった〝栃木の四人殺し〟であり、今度の脱獄だという意見だ、しかし黒崎の方は同じ兄弟でも、小悪党は小悪党なりのことしかできず、こんなところにも二人の性格の相違がはっきりと出ているという

のだから、暗号文の通信や、講談雑誌の背に金ノコを入れた差し入れ、宇都宮県営グラウンドでの〝草津よいとこ〟の会合合図など綿密なプランをたてたとしても決して不思議ではない、この点を探偵小説家の大下宇陀児氏に聞いてみると

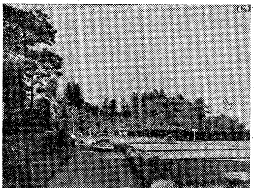
僕は菊地の脱獄の計画性が探偵小説的だとは思わないが、彼が頭がいいのは確かだ、講談雑誌の背に金ノコを隠して差し入れるなど、我々作家でもちょっと思いつかない着想

金子準二氏の方は、この点を犯罪者の帰宅本能と呼んで逃走者の心理を分析するといったん獄房の外へ出ればすべてのものが自分の敵だという恐怖心が起って来るからどうしても地理の明るいところへ逃げるようになる、例えそれが危険であっても、つかまる恐怖はどこにいても同じだと思えば、やはり自分の家へ帰ろうとするのが自然だといい、逃走者は一定の逃走ケースをたどるものだと断定しているが、菊地の場合には、単にそれだけで実家に立ち戻ったとはどうしてもわりきれない疑点がいくつかあるようだ

大下宇陀児氏談 菊地と黒崎との関係を見ると、兄弟というよりも何か親分子分という感じがする、弟の菊地が親分で兄の黒崎の方がその子分だ、しかし私がもっとも興味を感じるのは、犯罪に対してはまるで不感症である菊地にも肉身に対しては一片の愛情を持っていたということだ、脱走されたことの手落ちはやはり拘置所側に大半の責任があると思う、昔府中に天井をはって逃げる脱獄の名人がいたが、今度の菊地の場合は検閲を厳重にしさえすれば、未然に防げたと思うからだ

金子準二氏談 菊地に対する私個人の感想は何か虚栄心（医学的には小英雄主義と呼んでいるが）の強い男だという気がする、脱獄の一つの原因には、在所中看守などからいじめられ、その手落ちにするために復讐として逃げたのだということも考えられる、つかまったときの気持は〝あゝ疲れた！〟というのが、本音ではないか


寝巻姿の妹と別れを惜しむ菊地（中央ー腰をかけた男ー捕われた実家で）


菊地の実家はこの田舎道に沿った矢印のところにある

世界艶流譚 …（カナダ）…

モントリオールに住む八十歳のメイランド婆さんは老いてますますさかんです。なにしろ二、三ヵ所の銀行に預金している金が廿万ドルにのぼっているうえ、夫が廿年前に死んで以来というもの、一年毎に若やいでくるという異常な張りきり方ですので若い孫たちにちょうどいい遊び相手。「いゝかいお前たちが家にくるときは前もって電話してから来るんですよ。こっちの都合の悪いときもあるからね」よくこんなことをいゝますが、なんの都合か判ったものじゃありません。ある晩、孫やその友だちと一緒にオペラを観劇しての帰り道、名だたる廿歳の蕩児テンネットが家まで送ると申出たところ、メイランド婆さんは喜んで承諾しました。孫たちは笑いながら「こんなドン・ファンと一緒に帰らせるのは心配ですね、お婆さん」というと、彼女、真顔で、「これ、これ、そんなに騒ぐんじゃありません。そりゃね、わたしがもう十年若かったら、テンネットをたゞで帰しはしないんだけどさ」

モダン歳く記 お夏清十郎

寛文二年五月廿九日、播州姫路の旅籠屋但馬屋の手代清十郎は、主家の娘お夏をかどわかした罪で首を刎ねられ処刑された。西鶴が「好色五人女」に、近松が「お夏清十郎五十年忌歌念仏」に脚色したロマンスだ。「向う通るは清十郎じゃないか、笠がよく似た菅の小笠が、笠が似たとて清十郎であるわいの、さりとはえいやらえい」と古く流行歌にも歌われた。

実説だとお夏は清十郎の死後、一時は半狂乱になり芝居の「お夏笠物狂」を地でいったような始末だったが、後には片上という所に茶見世をだし、七十余歳の天寿を全うしたということである。

それが物語では清十郎との断落のときに、但馬屋の金が紛失し、お夏との間はさかれ、清十郎にも故郷に許婚者があり、お夏は立野の富豪にいい寄られ、痛心の余り発狂し、いよいよ清十郎が捕えられて刑場に入ると、清十郎はお夏のいることを知って末期の煙草を所望し、それを一服するとそのキセルで咽喉をついて死に、お夏もその場で捕吏の槍をとって自刃するという訳だ。ありふれた市井談ながら初期の肉筆浮世絵の美しさを想わせる濃艶なものになっている。（鮭）

あすの運勢 ＝五月廿九日＝ 高島象山

▲一月生ー何事も平易に静かなる行動のもとに努力すれば有利なり
▲二月生ー油断の為め意外なる事故が起つたり不意の迷惑あり易い
▲三月生ー物事順調に進展し利達栄昌あり醸造作移転開業結婚吉
▲四月生ー初め少しく苦労あるも徐々と進めば次第と進展し幸あり
▲五月生ー物事不如意に陥り迷惑災害を招来し易い交渉外交上注意
▲六月生ー物事思う事叶い向う処に達する日なり奮闘努力せられよ
▲七月生ー稼業大事と辛抱強く熱心に活動すれば無事なり異動は凶
▲八月生ー稼業には無事の義あるも突発的の事故で災禍にあい易い
▲九月生ー何事も大に喜びあり内和楽すると云う極めて平和の日也
▲十月生ー保守的に継続的のことに熱心努力して向上発展に至る也
▲十一月生ー進退共に間違い起り易く損失災害あり病気不幸を注意
▲十二月生ー積極的に活躍し面目を一新して努力すれば栄達有なり

浪人街道 (170)

木村荘十 野口昂明画

旅の空（一〇）

丹次の女房のおきくは、隣り座敷で二人の話を、息を殺して聞いた。

ところが、話は聞えない。

おきくも、昔は宿場で客商売をした女だ。

いきなり目顔で知らせて、内しょ話の二言、三言もすれば危い場所をとりつくろえる位のことは心得ている。

「畜生ッやるな。人を馬鹿にして」と間の襖に耳をつけていると、たしかに、ひそひそと何か打合せている。

思わず、引手に手をかけた時、

「あ、あっしは耳が遠いんで」と丹次が云い、然大きな声で「それは困りました。私も大事な使いを頼まれて参りましたので…それではお内儀さんにお目にかからせて下さいまし」

という声が聞えた。

おきくは、それを聞くなり座敷の襖をあけた。

丹次は、恥しさに顔を赤くして「やいやいやい。手前ェ何処にいやがったんだ」と叫んだ。

おきくは、はっと気がついたがさすがに素人のようにはまごつかず、

「さっきから家におりましたよ。三平が江戸からお客様だというんで御挨拶に」

「ああ、御内儀さんで御座いましたか。私は、江戸の美代吉という者で御座いますが…」

美代吉は、眼でしらせて声をおとし、

「江戸の大和屋様から御手紙を」

「まァ大和屋様の、それはそれは…」

挨拶も何もなかった。

「三平、三平。お客様に、お風呂の仕度を、直ぐだよ。それから、誰か魚吉へやって、何か新しいものをね。帰りに上等のお菓子も買って来させておくれ。お松は使に出さないでね」

騒ぎ出して下へも置かぬもてなしだった。

丹次も、ないしょ話が結構聞えるようになってしまった。

美代吉は、大和屋の言伝を伝えると、宛名も差出人もない手紙と、封をした金包みを出して渡した。

夫婦は、首を寄せて読んでいたが、手紙を直ぐ火中にすると、金を神棚にあげて拝んだりした。

大和屋は、かねて、ここから近い印旛沼の開拓に、田沼から交渉があり、金を出資するかどうかに迷っていた。

それで近い他領にいる丹次に、果して成功の見込があるかどうか。今までのところはどうなっているか、探らせていたのである。

手紙の中に、美代吉が、白岡城下に忍び込むについて、助力を頼むと書いてあるのはいうまでもない。

夫婦は、その手段を色々考えていたが、おきくは、溜息をついて云った。

「なにしろ美代吉さんは、いい女過ぎるものねェ。何に化けたって眼についてしまうよ」

「うん。よくまァ、ここまで無事においでになったよ」

「まァお二人で、印旛沼の埋立じゃァあるまいし、いやですよ」

「埋立」

「そうですよ。江戸じゃァおだてといいこともっこにゃ乗りたくないって申しますからね」

「おだてるどころかほんとに心配なんですよ」

丹次は腕を組んで考込んだ。



28日（土） ラジオとテレビ

	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 少年少女音楽会❶子供のシンフォン❷独唱と重唱 山口和子 荒木宏明他	00 英語会話 松本亨 15 現地にみる英総選挙 30 合唱 黒人霊歌ほか	10 東西こぼれ話 小金治 15 スイート・コンサート 25 ぴよぴよ大学（河井）	00 劇「少年宮本武蔵」 10 おばあちゃんと一しょに ワカサ・ひろしほか	00 メイコのお婿さん探し 15 ビクター・パレード 45 ノンちゃん雲にのる
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 演劇人二十の扉 久保田万太郎 八重子ほか	30 映画音楽「掠奪された七人の花嫁」より 30 ❶青年学級だより❷座談会「新聞の読み方」	10 録音ニュース 20 物語「赤穂浪士」夢声 50 リズムに乗つて 吉田末男とその楽団	00 録音ニュース 10 ビクターヤング楽団他 30 アベツク歌合戦 トニー谷 石井亀次郎ほか	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ 浜路 30 私のヒツトソング 津村謙篇 流れの旅路ほか
8	00 なつかしのメロデイ 渡辺はま子 中山嘉子他 30 とんち教室 石黒敬七 玉川一郎 岩佐東一郎他	05 きようの国会から 30 プロ野球 巨人対阪神ー後楽園ー（雨の場合は阪急対南海ー西宮ー）	00 落語❶夏どろ 小円朝❷錦明竹 柳枝 30 浪曲・次郎長伝「羽黒の勘六のたくみ」 虎造	00 素人ジヤズのど自慢 丹下キヨ子 小泉登ほか 40 都々逸スクール 木戸竝 藤本二三吉 柳四郎	00 飛び出す放送 トニー谷 中田康子 村田正雄 30 浪花節「木曾の旅姫」 五月一郎
9	05 ニュース解説藤瀬五郎 15 劇「樹氷」永井百合子 関口玄三ほか 40「雨季ーまた水害か」	00 ダンスアルバム 解説谷田部敏夫 花まつり他 30 明日のダービーを語る 竹田 保田 八木沢 野平	10 歌謡曲 島倉千代子 柳沢真一 美空ひばり他 40 歌謡漫談「遠山の金さん」川田晴久とダイナ	00 漫才❶浪花家芳子・市松❷西都次呂・波呂 30 劇「この世の花」真木恭介 丹阿弥谷津子ほか	00 リレー劇「太郎行くところ」大川太郎 司葉子 30 劇「美女と野獣」藤岡ひろ子 舟木淳ほか
10	15 今週のニュース特集 40 幸福を拾つた話「街頭写真うらおもて」市村他	00 ❶初級世界史 中村英勝❷上級英語 梶木隆一 45 気象通報	05 きようのニュースから 15 悪書追放論 藤田圭雄 30 劇「家のおばあちゃん」	00 大学受験春期基礎講座 英文法 黒田巍 30 国語（古文）小西甚一	00 歌謡曲 若原一郎 春日八郎 津村謙 35 スポーツ・カレンダー
11	10 NHKだより 20 私の健忘症岡田八千代	00 子供の生活と文化「危険な玩具」羽仁説子ほか	10 週末夜話「収金人」高木健夫 東京ガス社員	00 DXニュース 福士実 20 対談「日ソ交渉を巡り」	00 唄ごよみ 赤坂小梅他 15 映画音楽ナポリの饗宴

テレビ

★NHK★ ◆6・00 親子クイズ 田中明夫◆6・30 今晩はメイコです◆7・10 週間ニュース◆7・30 西ノ宮球場からプロ野球実況「阪急」対「南海」石田アナ【中止の場合】映画「都会の旋律」◆9・15 ニュースの焦点

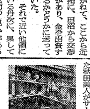
★NTV★ ◆6・00 歌謡映画◆6・10 テレビ動物園◆6・30 素人のど競べ 水の江滝子ほか◆7・30 なんでもやりまシヨウ◆8・00 後楽園球場からプロ野球実況「巨人対阪神」◆9・00 相模風土記「箱根火山群」

★KR★ ◆6・00 短編映画◆6・25 歌謡曲シヨウ◆7・00 お笑い劇場 一歩・道雄他◆8・00 ルポ「ウラン旋風」◆8・15 ダンスへの誘い◆8・30 映画「ナポリの饗宴」抜すい◆9・10 探偵劇「バレリーナと拳銃」

あすの番組

8・05 音楽の泉 堀内敬三	8・00 宗教行脚 戸田義雄	8・20 越路おしやべり手帳	8・25 みんなのメロデイ	7・15 古代文化の光三笠宮
9・30 コーラスアルバム	9・00 私と読書 小汀利得	9・10 ちえのわクラブ	9・00 東京シンフオニツク	8・30 財界放談 長岡正男
10・15 アンデルセン童話集	9・30 ラジオ音楽雑誌	10・30 交響曲第九番	10・45 スターは待つている	9・15 鮎の話 福田蘭童
10・30 声くらべ子供音楽会	10・00 将棋名人戦（第4局）	11・05 ミユジツクアルバム	11・00 陽気な一家◇軽音楽	10・00 仲良し音楽会
11・00 立体音楽堂	11・25 狂言「麗摩守」千五郎	12・10 素人うた合戦（大塚）	12・30 神宮野球場から「慶大対明大」「立大対早大」	11・00 ワチニンコ物語
11・25 講談「親鸞」馬琴	12・00 歌劇「ラ・ボエーム」	1・35 落語「廿四孝」柳好		12・00 職場対抗のど自慢

食道楽の圧巻 新宿「ぬなか」



新宿二幸裏の「ぬなか」は東京にいてふるさとの気分を味わい楽しむ店として有名だ。部屋は大小数間とも田舎の座敷や隠居部屋といった感じで、揃いのカスリを着た秋田美人がサービスの俗曲や民謡を歌ってくれる。なかでも芸術家に惚れてみたいと可愛いことを言う幸子さんや、京型美人で実業家が好きだという藤尾さんなど仲々の美声の持主だ。ビール二〇〇円まむし酒一〇〇円田舎料理には名物蛙料理のほかにし、いなご、なまず、〝かたつむり〟など、ゲテ物がズラリと揃っている。渋谷駅南口にも姉妹店があるから、食道楽なら一度は訪ねていい店である。

〝東京の箱根〟 田町「歌茶屋」

「あー箱根かどこかへ行きたいワ」と彼女の嘆息まじりの甘いささやきがあったら？。心配し給うな。フトコロが苦しくても、箱根いやそれ以上といっていい、立派な宿が東京都内にレッキとして存在する。中村歌右衛門丈の旅館、といっただけで知る人はなる程とうなづくが、場所は田町九丁目、都電停前の「歌茶屋」である。各室数寄屋造りの凝った建物だが、圧巻は深山幽谷の気分を出した広い庭に転在する独立離れ家だ。せせらぎの音、松の涼風もそのままに二人づれの週末旅行に楽しい〝東京の箱根〟といっていい。料理もうまくサービスは家庭的。二人で休憩四〇〇円、泊り八〇〇円。電三田(45)二五四八番。

一級ホテルの楽しみ 値段は三流「ホテル・チトセ」

渋谷国際映画前通りに近代建築の粋を誇る「ホテル・チトセ」がある。部屋数はザット四十。各室にバス、トイレ、電話つきで、スプリングのいい豪華なベッドが備えてある。勿論、都心に出して恥かしくない一級ホテルだから、バスルーム、ミュージックホール、ダンスホール、レストラン、スナックバーなどに広いスペースをさいた立派なホテルだ。アベックが一日をエンジョイするには高級過ぎるかも知れないが、値段は至極安い。二人で泊り六〇〇円、休憩一人で二百円というのだ。伊東に「千春」という割烹旅館を経営している。

食通の味覚 朝鮮料理 新宿要通り「食道園」

中華料理を食わせる店は数多いが、本場の朝鮮料理を食べさせる店は少ない。味と栄養の豊かなことでは中華料理と並んで食通には喜ばれているものだから惜しい限りだが、一度食べてみると大がいファンになって、一週に一度は食べなければいられなくなるというこんなファンの為に誰に恥じないのが新宿要通りの「食道園」だ。コックさんが永年現地で腕を磨いたその道のNO1だから味については多言を要しまい。しかも大衆に愛される為に儲けを度外視しての商法で、一五〇円のものを一二〇円で奉仕しているという嬉しい店だ。気分は上品で一流レストランに比べて劣らず、料理は冷麺、温麺などは勿論、ホルモン料理も用意してある。一階はテーブル、二階は風流なお座敷になっているから、家族づれ、商談に利用するといいが、同伴で差し向い、朝鮮料理に舌づつみを打てば彼女の心も自然にほぐれよう。

新橋第一級のバー 住友銀行裏「クラブ・東京」

新橋住友銀行裏の「クラブ・東京」。といっても近頃おハヤリの同伴クラブのことではない。レッキとしたバーで、しかもウィーンあたりの一流バーの雰囲気を味わえるセンスのいい店だ。バーテンがパリ、ウィーン、ニューヨークなど、世界の盛り場で腕を磨いて来たその道のベテランといえば、カクテルの味については絶対。バーで遊ぶ人々の気分を心憎いまでに心得ていながら、ズブの素人だってここに入ればそのまま洋行したような雰囲気にひたれる。建物、設備は淡い方で、静かに流れるメロディーはLP盤。ミス・東京級の美人揃いのウエイトレスがサービスしてくれるとあれば申し分ないバーの圧巻だ。常連に芸術家や財界一流の名士が多く、同伴で行けばナイト・クラブの気分も充分。新橋第一級のバーといっていい過ぎではないだろう。

踊って映画が無料で見られる
新宿駅西口成子坂下の成子映画の地階にある同伴クラブ「クラブ新宿」で彼女とバンド演奏を聞き、ジュースを飲み、踊りながら青春を楽しむ、青春の社交場である。帰りには成子映画の映画券をくれる。何んと全部で一五〇円とはウソのような本当の話である。午後六時から開場

フランス乙女の知性とおしゃれ 神田「アンゼス」

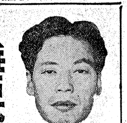
フランス乙女のあか抜けしたおシャレと、情感溢れるエロキューション。親しいうちにもどこか高い知性を備えた社交性など、一度つき合うと忘れられないといわれるが、ちょうどそんな感じの喫茶店が神田神保町誠屋洋服店の横を入った所にある「アンゼス」だ。シックな二階建、落ついた調度、大学教授や学生のファンが多いのもうなづけよう。コーヒーはブラジル、コロンビア、モカのミックスが60円。サービスにピースを出している。

むし風呂の元祖 大塚駅前「ピースホテル」

二人で楽しく語らいながら、並んで入れるアベックむし風呂。心臓の弱い人なら聞いただけで頬を染めるだろうが、許し合った仲なら一度は試してみていい二人の天国だろう。

こんな乙な真似をするホテルは豊島区巣鴨の「ピースホテル」だ。国電大塚駅から氷川改正通りへ出るちょっと手前にある粋な旅館でマッサージでもOKというからトルコ風呂よりずっと気が利いている。二人で泊り七百円、休憩三百円。別館には水だきで有名な料亭もあるから、ここで腹ごしらえして入浴という段取りになれば素敵だろう。

裏にワナあり援助交際
睡眠薬飲ませて暴行
手紙で釣って田舎娘十数名を毒牙に


春日原十二

「援助交際…」よく新聞に出る広告を巧みに利用、しかもそれで釣った女に睡眠薬を飲ませ、こん睡状態に陥っている時に毒牙にかけていた猟奇雑誌を地でゆくような男が廿五日婦女暴行容疑で六森署に検挙された、男は長野県生れ世田谷区深沢で彼のワナにかゝった女性は昨年五月は彼の手口とその動機である

「私は中年男に麻睡薬で汚され、その上お金までとられました…」と一少女の投書がこのほど六森署にあった、同署はその男が下宿していた東蒲田一の二七竹内照夫さん方を踏み込んでみると蝉抜けの空であり、行方を追っていたところ世田谷区深沢二の八にいることを突きとめ廿五日逮捕した

同署の調べによると春日原は戦時中満州におり廿五年郷里の長野県上水内郡に引揚げたが職もないところから妻子を郷里にのこして上京、中野の某理容学校で技術をまなび都内の警察や大学などへ出張して理髪師をやっていた

しかし、こんな生活では一旗どころか食うにも食えない、何か別なみちで金になり、しかも妻と離れ淋しいこの身を楽しませることはないかと考えぬいた時に浮んだのがいま流行の援助交際利用だった

よしこれに限ると廿九年五月ごろ春日原は"文通による男女交際"をうたった豊島区の「S社」を友人に紹介され、それをネタに女を釣ろうと決意しそれにはまず

❶都内居住の女性では成功できない❷東京からできるだけ遠いところの娘がよい❸十七―廿歳ぐらいの都会に憧れている田舎娘はだましやすい

の三ヵ条?を守ってやればきっとうまくゆくと悪の道に入った、そこで春日原は最初兵庫県宍粟郡に住む新制中学を卒業したばかりの少女A(一七)に

自分は今年東京の大学を卒業し、在学中キング・レコードでアルバイトをし近江俊郎や岡晴夫、などと親しい、東京はよいところだから是非一度来ないかというような意味を手紙に綴り東京へ憧れる少女を誘惑したところ、まんまとワナにかゝった、そこで前記蒲田の下宿へ少女を引っぱり込みアドルムを「ビタミン剤だ」栄養になると称して十五粒ものませ、こんすいした時に少女を無ざんにも散らし、持っていたお金もとっていたという

この手で六月の中ごろ[illegible]

[illegible]に次の相手福島県河内郡の農業岩井雪子さん(三四)=仮名=を、さらに八月には長野県東筑摩郡の少女(一七)を上京させては暴行同じ下宿にいると犯行がバレるのでその後蒲田、目黒、世田谷と転々と住居を変えていた事が世田谷の同家に踏込むと人宅からは春日原の口車に乗った女性たちからの手紙が約百五十も発見され前記三人同様に被害を受けている女性も相当に多いものとみて同署では追及している

賊、ハンマーで殴る
天沼 留守居の細君重傷

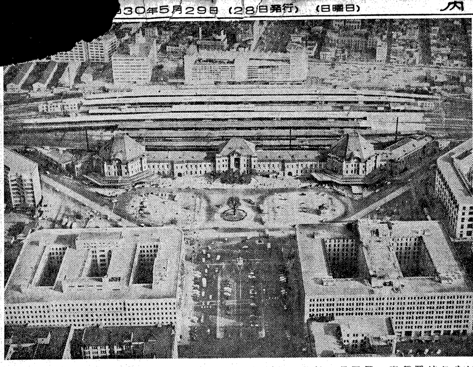
廿八日朝九時五分ごろ杉並区天沼一の一二四会社々長吉沢雅雄さん(四八)方で妻はるさん(四六)が玄関先を掃除中玄関から入ってきた廿八九歳、五尺三、四寸髪ボサボサ、やせ型、職人風の男にいきなりものもいわずに傍にあったハンマーで後頭部を殴られ全治三週間の傷を負わされたと百十番で荻窪署に届出た、同署で緊急手配しているが賊は何も盗らずにいきなりはるさんを殴りつけただけで逃走しているので物盗りの犯行ではなく、同家に恨みを持った者の仕業とみて元同家に出入りして最近素行不良で吉沢さんから出入差止めを食った職人加藤某(二七)を中心に捜査している

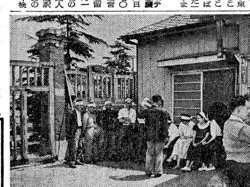
女八名ら検挙
桃色ホテルを急襲

警視庁保安課衛生係では廿八日朝六時新宿区西大久保一の三七〇「グリーンウッドホテル」=経営者森田とみ子(二九)=を急襲、駐留軍兵士相手に売春していた同町一の三六八阿久根幸子(二六)ら九名の女を売春現行犯で、森田と支配人の藤田美代子(三〇)同ホテル通訳杉原秋男(二七)同金田多喜夫(二六)の四名を売春条例違反でそれぞれ検挙した

デ杯戦開幕

デ杯アメリカ・ゾーン出場をきめる日本対フィリピンのデ杯イースターン・ゾーン決勝戦はきょう午後一時田園コロシアムコートでデ・ロ対加茂のシングルス一回戦で[illegible]





東京アクセサリー ⑫
都会の谷間

○…戦後の盛り場新地図の特徴は、渋谷、池袋などターミナ[illegible]げは、五月廿六日をみると千百四十一万六千三百五十五円とな[illegible]

○…この駅ができたのは大正三年十二月十八日、設計は辰野金吾博士でオランダのアムステルダム駅の構造を取入れているが機能的には全くナンセンス、当初は八重洲口に出入口すらないという始末だった、もっともそのころのこの辺一帯は「賭博ヶ原」と呼ばれ雑草の生い繁る中で白昼から車夫が賭博にふけっていた名残りが残っていて、明治四十一年三月廿五日着工した当時は「鉄道院総裁後藤新平がまた大風呂敷をひろげた」という噂があったほどだった、"世紀の大式典"と騒われた開通式当日の人出はナント二万四千七百二人だったというから淋しいものだったに違いない

○…だが大正十二年二月に"へ恋の丸ビルあの窓あたり…"と歌にまで[illegible]を収容する、当時としては日本一の大建築だった、それが、現在ではそれを上回る一九九九二坪工費四十億の新丸ビルや運輸省、中央郵便局が丸ノ内側に立ち並び、八重洲口には日本橋室町という大商業地をひかえて、疑獄の波紋を投じながらも総工費廿五億円の鉄道会館が開店、大丸デパートの東京進出というデパート史を飾る?一コマもあった、さらに、この側には鉄鋼ビル、国際観光会館、国鉄労働会館など多数のビルが林立してまさに都会のジャングル、都会の谷間を作り出している、といえば、東京駅をアクセサリーというにはあまりにも切実、あまりにも雄大なる存在ということになろうか【写真は本社特用機上より写した東京駅周辺】

176 エムさん 石川進介



美人王国 神田ミナト
帰宅待伏せ強奪
ボーイらの余罪
池袋の暴力カフェーに第二の被害者

池袋署ではさきに暴行傷害容疑で検挙した、豊島区池袋二の二一六三「ラ・セーヌ」=経営者掛本くに子=のマネジャー木村剛(三三)ボーイ武藤政雄(三二)の二人は(既報)その後の調べにより、ビール一本で一万円捲上げたうえ、被害者が帰宅途中待伏してさらに二万円を強奪したことが判明、廿八日朝強盗容疑で送検した

調べによると木村らの犯行が報道されているのをみて廿七日夜同区池袋二の九三九会社員野口弘之さん(三五)がギプス姿も痛々しく「私も同様の被害に会いました」と届出たもので、それによると

廿二日午前一時ごろ池袋駅西口付近を通行中ラ・セーヌの客引きにひきこまれビール一本とお通しを出され九千百七十円を請求された、野口さんが「高い」というやあらかじめテーブルの下に十本程の空びんを置き「こんなに飲みやがって、生意気な奴だ」と脅がる野口さんから一万円を喝取店外へほおり出した

野口さんが帰宅途中常盤通り二の九〇二に来ると木村、武藤、客引きの春子らが待ち構え「よくも高いとケチをつけたな」と殴る蹴るの挙句ポケットにあった二万円を奪って逃走した、野口さんは全身に二週間の打撲傷を負い明方までその場に倒れていた

なおラ・セーヌは極東組の経営する飲み屋とみて池袋署ではこの種の悪質業者を厳重に取締るといっている

駅前神田 サロン松 NOチップ社交場

贈賄業者二名を召喚
都庁汚職追及

都庁汚職を追及中の東京地検特捜部は廿八日朝中央区日本橋本町四の五第一ビル内徹金工業(責任者山川善太郎)千代田区神田鎌倉町二一中山工務店(店主中山浜次)の二ヵ所を家宅捜索すると共に山川、中山の両名を贈賄容疑で召喚取調べている、両名はさきに逮捕された都財務局管財課技術吏員宮本恒に対し造営工事入札にからみ多額の金を贈って便宜をはかってもらっていたもの

ふし穴
両国の"お招ばれ族"

△…未決死刑囚菊地正の脱走問題で、小菅拘置所の監人管理のルーズさが世の指弾を浴び、ついに所長が更迭されることになった、菊地が栃木県の実家で逮捕された夜、亀有捜査本部にその第一報が入った、記者団はこれをきいて川上所長の話をきくため小菅を訪れたところ、表門のカギがしまっておらず、手で押すと苦もなく開いた、しかも入口に看守もいなくて、記者団の姿に驚いて飛んできた始末であった、菊地脱走でフンドシをしめ直したかと思ったらとんだ間違いらしい

△…蔵前の国技館も、ひところの丸太と荒ムシロのころとは面目一新、すっかり本建築が完成、先日は天皇陛下をお迎えしたほどだが、桟敷もだいぶ広くなって、ヒザを立てっぱなしでなくとも観戦できるようになった、その桟敷人種を見渡すと、今場所はとくに"お招ばれ族"が目立っている、毎日マスの顔ぶれが違うし、その会話からみて、銀行さん、税務署さん、官公吏さんなどが多いようだ、四人入るマスに納まると、黙っていても茶屋から酒、肴、菓物、弁当、さては豪華なお土産まで刻々と運ばれてくる「ほう、こんどは何がくるのかね」「あそこの会社はサービスがいいナ、土産までついてやがる」「茶屋のにいさん、これは何だい」なんて会話はザラだ、きくところによれば、土産つきなんてのはまだ軽いほうらしく、二人招待されたとすると、チャンと一人宛のダンサーか、芸者がマスに先着していて、ハネてからキャバレーか料亭へ―というのも少くないとか、招待したほうは一マス一日五、六千円から一万円ぐらいですむのだから安上りだし、招かれるほうも、先方と顔を合せるじゃなし、気軽に受けられて、豊かな気分になり"汚職"なんて嫌な気持にもならないので、双方にウケて、場所ごとに"お招ばれ族"はふえるという、しかし「冬場所は何日にやるんだ」なんていってるのが少くないから、ある好角家は、"お招ばれ族"増加はファンの質が低下するばかりだと嘆いている

▽…ファンに喜ばれている相撲の解説放送は、廿七年春に文化放送が元天竜の和久田三郎を実況放送のマイクに招き、アナ君と対談的に解説したのがハシリ、いまや元羽黒山の立浪、元照国の荒磯、元高登の大山、元増位山の三保関、元鯱瀬川の楯山、元柏戸の伊勢ノ海、元笠置山の秀ノ山、それに元神風、元玉ノ海など、なつかしい土俵の人気者がズラリ、主力は現役検査役なので、自系統力士にはシンラツだが、他には甘すぎる この点協会と縁のない天竜、神風、玉ノ海らは痛快味がある、しかし謝礼は案外で、一場所三万から六、七万ぐらい(黄)

第二波72時間ストへ
ビール労連関東三工場

賃上げ闘争中の全麦連(九千名)傘下吾妻橋(朝日)目黒(日本)横浜(キリン)の関東三ビール工場(千三百五十名)は廿八日午前零時から第二波七十二時間ストに入った、ほかの全国九工場は仕込み製麦両部門の無期限部分ストを続行しており戦後初めての大規模な争議となった

この日三工場はスト破りの姿もなく静かに全工場の流れ作業がストップした、会社側の調べによるとストップしたビールは三工場一日約四万箱金額でザッと一億二千万円となっている

なおビヤホールへの生ビールは出荷が止るのでビール党には痛く逆にビール会社はアワをくっている

【写真は鉢巻姿でピケを敷いたニッポンビール目黒工場従業員】

修学旅行泣かせ
常習泥棒

丸ノ内署では廿八日朝世田谷区三軒茶屋五四保険外交員藤森昌市(三〇)を窃盗容疑で検挙した、調べでは藤森はさる十三日午後四時ごろ、修学旅行にきた兵庫県立出石高校の生徒が二重橋を見物しているすきに、留守番のいないバスの中から同校生徒石本修一君(一七)他一名の手提鞄など(二万一千円相当)を盗んだほか、さる二月ごろから検挙されるまで修学旅行のバス専門に廿件十三万余円の窃盗を働き生活費に当てていたもの

戸塚の火事

廿八日午前三時ごろ新宿区戸塚一の四四八ボール箱製造業鈴木甲子五郎さん方から出火、木造二階一棟廿二坪を全焼、さらに隣接の木造二階一棟五世帯廿坪を半焼、この際鈴木さんと息子の信義さん(一七)は顔、手などに火傷を負い付近の病院に収容された、放火の疑いあり戸塚署で調査中

大相撲 夏場所星取表

(○勝 ●負 □不戦勝 ■不戦負 や休)

[illegible]

夏場所千秋楽取組

(東)	(西)
柏竜	鶴美山
松緑	鯉ノ勢
松恵山	秀錦
松井	二所錦
森ノ里	神生山
東海	大士崎
大竜	増巳山
伊勢錦	常錦
太刀風	岩風
白雄山	二豊山
鶴波	大田山
時錦	前ケ潮
玉風	七ツ海
神雷	豊ノ花
平鹿川	出羽花
鬼竜川	小野錦
起賽山	吉井山
福ノ里	筑後山
八染	前ノ山
那智山	楯甲
=中入り=	
秀湊	若羽黒
剣竜	平ノ戸
清水川	神錦
緋縅	泉洋
大天竜	清恵波
大晃	国登
大瀬川	大蛇潟
成山	桜国
白竜山	二瀬山
若瀬川	常ノ山
広瀬川	双ツ竜
星甲	島錦
若葉山	芳野嶺
北ノ洋	玉ノ海
若前田	出羽錦
羽島山	宮錦
潮錦	大起
栃光	安念山
鶴ケ嶺	大昇
鳴門海	時津山
琴ケ浜	出羽湊
若ノ海	信夫山
松登	若ノ花
=是より三役=	
朝潮	三根山
大内山	栃錦
千代山	鏡里

千秋楽好取組二番

△松登―若ノ花 大関の望みがなくなった両力士だがかえって楽にぶつかれるので案外いい相撲になるだろう、左の相四つでがっぷりいけば松の寄り身が一気に勝機をつかむだろうが、若半身になって上手をひけばわからなくなる、松立合い体当りに行くのが定石だが若は飛ぶくせがあるから気をつけないとあぶない

△大内山―栃錦 栃勢いにまかせて深入り過ぎると両まわしをひきつけられて動きを封じられるかもしれない、立合い素早く栃が左前まわしをとり、くいさがりの体勢で大内がまわしをほしがっている間に、得意の早業で勝味に出ればスローモーの大内手を打つひまがない、大内よほど考えてとらないかぎり栃のもの(吉川)

あすダービー
ケゴン果して不敗か

【東京四日目】

いよいよあす全国競馬ファンの注視を浴びて第廿二回日本ダービーが行われる、人気は大体ケゴン一辺倒の感だが、果してよく衆望に應えるかどうか

△サラ障害特別(第六―二千九百㍍)モナコオーの66㌔、カクセイの64㌔は何としても重く、ベストコンデシヨンには今一息の出来ながらオシヤレオーのチヤンス、最近の調子からはアサミネが強敵で、もし連穴を出すものがあればインデアンオー、順位はオシヤレオー、アサミネ、モナコオーの順穴カクセイ

△サラ四歳ステークス(第八―二千㍍)ここは二次東京の七日目に行われた四歳特別の再戦、着順通りクロマツオーが最も強く、スサカホマレが対抗馬、ストロングここの二日目二着したタイムはよいが、右の両馬を相手にしては現実に敗れているので穴以上には推し難い、クロマツオー、スサカホマレ、ヤマトヒカリの順、穴ストロング

△ダービー(第十一―二千四百㍍)その実力からはケゴンが最も強いが、さつき賞、NHK杯同様三度不利なレースをせぬとも限らず、その際は他馬の食い込みが大いに可能となって来る、成績的にはイチモンジ、カミサカエが間隔をつく惑星と見られるわけだが、さつき賞、NHK杯でともに三着したダイイチヒガシヤマも引続き好調だし、ウゲツ、ダイナナカツフジの出来も悪くない、しかしこのレースがもし大きく荒れれば、ヒデホマレかケンチカラではないかと思う、ヒデホマレは最近メキメキ良化を示しているし、ケンチカラは廿六日の本馬場で九九秒二―五〇秒三―三八、このタイムで好走した、もし馬場が悪化すればナンシーシヤインとヨシフサが台頭することになろう、ケゴン、イチモンジ、カミサカエの順、穴ヒデホマレ

シルバーウエーブ(松本顕一)

戸田ボート

戸田競艇組合主催第四回ボートレース第三節は廿八日から卅一日まで四日間開催される

◇優勝候補 ベテラン佐竹昭を筆頭に問井三、友永照、三浦秀、穂江節、上村一、山口博らが有力で大島次、歌谷博、村田吉、小坂喜京本光、小林保、西村猛らの活躍がみもの、このほか中之瀬兵、浅尾臣、坂田朗、山本武、多賀興に注意、モーターでは

◇キヌタ=たかお、たかちほ、妙高、はくば、かが、かわち、ながと、しなの、とさ、うめ、いすず◇ヤマト=ぼたん、やまと、すいれん、しらね、あさま、あらかわばんらい、きそ、きくが好調(京一男)

東京競馬三日目成績(晴馬場良)

◇第一サ(千六百)❶アーミー(野平好)1分40秒0❷ノーブルフラツク首❸オキツナミ1馬身1/2(単)210円(複)120円130円(連)❹―❷340円

◇第二サ(千六百)❶フリスコダウ(小野)1分39 0❷ミスセイジユ五馬身❸イリアサヒ[illegible]

池袋、千駄ヶ谷にトロリーバス

都交通局では六月一日から池袋駅前―千駄ヶ谷四丁目間のトロリー・バスの運転を開始

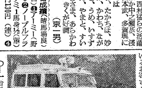
あすのスポーツ △プロ野球 トンボ対大映ダブルヘッダー(五時川崎)巨人対阪神ダブルヘッダー(五時、後楽園)国鉄対廣島ダブルヘッダー(零時半、八王子)△大相撲夏場所千秋楽(九時、蔵前)△六大学リーグ 早大対立大、明大対慶大(零時半、神宮)△六大学バレーボール(正午、日大)△関東女子大リーグ(十時、お茶の水女大)△女子野球 京浜対三共、エーワン対岡田(一時、駒沢)△バスケット 立大対同大定期戦(一時、体育館)△競馬 東京ダービー(十時半)

独眼灯

○…都交通局では来る六月一日から都電の事故に備えて、クリーム色のスマートなパトロールカーを運転する

○…電車が遅れたりするとかくいらくへするものだが、事故が起きたらすぐ現場へ飛び、遅延したりする時には備えつけのスピーカーを通じて「あと何分で参りますから…」と沿線で首を長くしているお客さんに報らせて回るわけ

○…一台二百五十万円もするとあって、予算の関係からこんどお目見得したのは二台だけだが、将来は五台に増やして「愛される都電の実を挙げたい」とはりきっている


【写真は近く登場する都電のパトロールカー】

客足をひく店は?

同じキャバレー、バー、喫茶店でも、何となく入り易い店と、入りにくい店がある。味や女性はどこでも五十歩百歩だから、こうした種類の営業は、何といっても客の心を惹く魅力を、店自体に備えている必要がある。中野本郷通り一ノ四〇の「双葉工房」は、こうした専門に手がけて来た建築、設計、美術の施行者だ。

日本橋を代表する コーヒーと洋食の味 堀留「コロンビア」

◇…日本橋堀留の電停前に「コロンビア」という店がある。本来は珈琲店だが、洋食の味でも名を売って付近の繊維問屋の人々に昼の憩い場所、商談、応接間がわりに利用されていつも繁昌している店だ。場所柄もあろうが、シックで落ついた建築調度は、人形町から堀留界隈の東京下町を代表する雰囲気にピタリとして"本当の東京"が銀座から消えた昨今、わざわざハイヤーでやって来るファンもあるという程のモテよう。

◇…珈琲の味は特別細かい神経の行き届いたもので、焙りミックス共に本格的な定食やカレーライスなど洋食類も帝国ホテルのグリルと比肩出来るものだ。モダンな明るい部屋とクラシックな渋好みの部屋、奥にはとりわけ静かな特別ルームもあるから愛人との楽しい語らいの一ときに利用すればまた素晴しい想い出となろう。

◇神田の特異的存在「エリカ」◇

朝七時半から夜二時迄、深夜営業の珈琲店が「エリカ」である。特級の冷房完備を施した、男ばかりの特異的な珈琲店である。

久米の仙人の惚れた女は?
浅草国際通りのアルサロ「現代」

◆…頃は夏、水辺で洗濯している女性の足許にそよ風が吹いて、裾がニンマリほころびた。白い脛がちらッ!としたとたん、雲の上からおっこちたというのが久米の仙人の話だ。恐らく、この洗濯女がキャバレーかバーのプロだったら久米の仙人とても落ちないですんだであろう、というのが筆者の見解である。初々しい娘の脛の魅力は、男を知らない所にある。男を知らないということが魅力だから処女が尊ばれるのは当然。久米の仙人時代から、レンメンとして伝わる男の欲望である。

◆…さて、いかに男が男を知らない女性に接してみたいと思っても、まさか街を歩いている女性にいきなり話しかけるわけにはいかない。ヒジ鉄で済めばいい方で、下手をすると婦女追随罪などというオッカナイ法律で縛られる。だからこんな欲望をもった男性は浅草国際通りのアルサロ「現代」に行くべきだ。

◆…絶対かけ値なしの純な乙女ばかり凡そ百名もいて、なかには女子大在学中の学生や、日本橋の某会社のオフィスガール、ドレメの洋裁生などもいる。プロ化した女性はどしどし辞めて貰っているという、うれしいサロンだ。豪華ケンランたるショーも連日打っていてしかもお値段はビール一本二〇〇円でノーチップ、嫁さん探しの好々爺が、仙人ばりに穴に落ちた、などという話もある程、初々しい娘の揃っているアルサロである。

情炎の千代田城

岩崎栄　寺本忠雄画　（130）

小姿竹院（三）

[illegible]「……とおっしゃるのでございますか」

「はい、いやなに……お糸のためなら……やがては御鎮静か……と」

「しかとお糸のせいでございますか」

[illegible]



[illegible]その他三人の医師に、鋭い視線をジロリと呉れて、

「どのお医師たちも悉く、全然お見立てが出来ぬと申されてでござりまするか」

と、これは明かに、医師どもの無能を責める語気であった。

「うむ」

家宣もまた、医師たちの方を叱るような眼つきに睨み据えたが、何もいわずにまた愛児の顔をのぞき込んでしまった。

絵島はその家宣に軽く一礼すると、ひどく折り目だった動作で、クルリと、玄朴の方に開き直った。

「玄朴殿！」

女傑である。その一言が、部屋じゅうの空気を、ピリッと響るわして響いた。

「へゝっ」

両手をつかえた玄朴の肩が、ピリピリと小きざみにふるえている。

「ほんとに、お見立てがおつきにならぬのでござりますかっ」

「は、そのまことに、まったく……はい」

「おわかりにならぬのですかっ」

「は、いえ、なに、その、わからぬと申すのではござらぬ……が、ごふだんからお糸が強くあらせられまするで、その、お糸のせいと存ずるしだいにござりまして」

平伏した額から、禿げて光るサカヤキのあたりに脂汗が滲み出している。

「それで？」お糸のせい故心配は

「あ、灯を細く、暗くしてください」

医師でなく、絵島の命令だった。

そして絵島は、また一礼して家宣に向き直った。

六月の浅草公園劇場

大衆演劇に転向した浅草公園劇場の転向第一回公演は六月一日初日で不二洋子劇団の出演と決った。演しものは次の通り▽柳辰夫作「悪太嫁敢斯」五場▽迫日出雄作「権八魔風」七場▽舞踊劇「濡れつばめ」▽村上元三作「次郎長三国志・大野の鶴吉」

なお大江美智子一座の鈴蘭劇はさきに契約したすみだ劇場公演を終了後七月ないし八月に出演する筈



土曜サロン

紫雲丸事件と役者根性

奈良岡朋子

さきごろ劇団（民芸）のSさんと稽古前のひととき街を歩いていたんです。一軒の本屋のショウウィンドに紫雲丸事件の写真が出ていました。例のいたいけない学童たちが多ぜい海に溺れている写真です。Sさんは劇団でも玄人はだしのカメラマンですので、おのずとあの写真を撮った人の心境について話がはずみました。私たちがその場にいて、そしてカメラを持っていたらどうしただろうかというのです、Sさんはオレにはどうしてもあんなムゴい写真なんか撮れなかっただろうよといい

私は反対にシャッターを切ったに違いないと答えました。

そう答えはしたものの、何となく気になって、ひとりになってからもう一度このことについて考えてみました。すると、よくいわれるジャーナリズムとヒューマニズムの問題が他人事でなく思えて来ました。何かそうした特別な事件に直面した場合本当のところそのどちらを採るべきものなのか、それは私には判りません。しかし役者としての心構えからいえば、感情を殺してもシャッターを切るーそういう厳しさが必要じゃないかと思うんです。

肉親、あるいは身近な人が死んだとき、役者は一般の人々と同様たゞ悲嘆の涙にくれてだけはいられない。そんなときでももう一人の私がいて、冷い現実を客観的にじっとみつめ、その状態を自分の頭の中に、自分の肉体を通じて克明に記録しておく必要があるのだといゝ聞かせるでしょう、それが役者として大事な経験になるんですから。

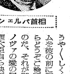
もちろん、自分や身近な人々の身の上に、死とか病苦とか不慮の事故とか失恋とかの悲しい災いや煩いはできるだけ起って欲しくないことはきまり切ったことです。しかし避けられない不幸というものは身の回りにいつか起って来るものだし、またそういう試練のきびしさを経なければ、俳優としても人間としても大きな成長は望めないということを感じます。

それなら、役者というものはどんな不幸にも平然として傍観している冷酷なものなのだななどとは考えないで下さい。ニュース・カメラマンは冷酷無残なああいう写真を撮ることによって、そういう事実をまき起させたものへ、新聞を通して強烈な抗議をするわけなんですし、役者はまた眼を蔽いたい悲惨さを精密に心に焼き付けておくことによって、本当に観客の心を打つような演技を見せるための貯えにするわけなのですから。本当に冷酷な人間に他人を感動させる芝居ができるわけはないでしょう。

そう考えて来ると、さっき出した問題の答えとしてはやっぱり、ヒューマニズムが先だということになりますね。

首相自ら上映に裁断

イタリアで「カサノヴァの愛の冒険」騒動



シェルバ首相

総理大臣さまはどこの国でもお忙しいもの、イタリアだって例外じゃない、首相マリオ・シェルバ閣下の頭の中には国際、国内問題が一杯つまって頭の痛いことばかり、それなのについ最近ローマの警視総監どのが部下を従え麗々しい制服姿で首相官邸へ現れうやうやしく十巻余りのフィルムを彼の前に置いて「恐れながらどうぞご検閲を」と頼んだものだ、それが問題の映画「カサノヴァの愛の冒険」である、総理大臣自ら映画の検閲に乗り出すなんてことはけだし前代未聞である、一体なぜこんなことが起ったのか—

余りに濃厚すぎる

ベッドシーンに興奮した母親たち

警視総監にねじ込む

イタリアは映画に対し政府が製作助成金をくれる"文化国家"である[illegible]入浴シーンも平気で撮らせ上映させる国柄であるそれだけにこんどの「カサノヴァ」騒ぎは各方面に大きな反響をよんでいる

この映画は最近のイタリア映画の多くがそうであるように、俳優陣に英国からナディア・グレイ、マーラ・レーン、フランスからコリンヌ・カルヴェール、マリーナ・ヴラディなどのキレイどころが、主役のガブリエーレ・フェルゼッティ（カサノヴァ）から次々に[illegible]ご婦人方の役となって出演している、テクニカラーで撮るため[illegible]やセットにもフ[illegible]っているが、さてその出来栄えがいかに[illegible]ローマの文化人、[illegible]などを多数招き、試写会をやったも[illegible]ん ご夫人同伴が[illegible]カサノヴァといえ[illegible]と知っていて、先[illegible]とは彼の「ざんげ[illegible]みした経験のない[illegible]いほどだ、だから[illegible]、映画 となると[illegible]なわけで、娘が愛の手練手管、父母をだまくらかす手などをジカにスクリーンから教えられたりしては敵わないというわけで、一応未成年のご令嬢などは連れて行かなかったようだ、ところがである、映画が始まったところ、いやもうベッドシーン の真に迫って 濃厚なことと来たら！ しかも相手を変えて次々と違ったベッドシーンがめんめんと展開されるという有様に、途中で敬虔な婦人たちは嫌がるご亭主を強引に連れ出したり、あるいは眼を蔽うもの、亭主を置いたまゝ退場するもの、終っても起てなくなるご婦人も出现するといった大変な騒動を巻起す結果に相成ったこれには主催者もあわてたが、警視庁はさらに狼狽した、このまゝでは捨ておけぬと早速フィルムをひとまず押収することにした、しかし簡単に 上映禁止処分 にして"四等文化国家"並のブザマなことはやりたくない、昨年夏更迭したばかりの気鋭の警視総監どのとしては片方を立てれば、映画人や文化人から総スカンの目に遭う、コチコチの婦人団体、宗教団体からは「禁止々々」と矢の催促だし、反対側の映画製作者協会やペンクラブの作家詩人連からは「野暮なマネをして国辱をさらすな」と脅かされる始末、各新聞も一斉に騒ぎ出し、ローマ市中は寄るとさわるとこの話に花が咲いた、おかげで夜もオチオチ眠られないほど悩み抜いたこの"ハムレット的"警視総監どのは、遂に思い余った挙句、かつて現首相が故デ・ガスペリ内閣時代、内務大臣として直属の上官 だったことを 思い出し「恐れながらー」と願い出たものさてこの前 代未聞の首相 検閲官が、官邸の映写室でニヤニヤ、ハラハラ老の身に若き血潮をかきたてながら鑑賞した結果はいかなる判断を下すか？ 目下イタリア映画界と映画ファンの何千万という目は事の成行き如何と期待しているという（キーストン特約）





「カサノヴァの愛の冒険」の一場面（上）いまかいまかとベッドルームで待つ風情、マリーナ・ヴラディの艶姿（下）別のベッドシーン、後からカサノヴァ（ガブリエーレ・フェルゼッティ）に抱きすくめられているのは英国女優のナディア・グレイ（写真はキーストン特約）

ている

東宝歌舞伎第二陣に菊五郎劇団出演か

東宝では東宝歌舞伎の旗上げを七月東京宝塚劇場で開演、長谷川一夫、扇雀、歌右衛門、勘三郎を出演させることになったが、これにつぐ第二弾を秦豊吉氏が担当して菊五郎劇団出演の構想をめぐらしている

スターのいる町

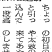
赤坂界隈（その一）

◇一秀

駒で名を売った赤坂といっても花柳の巷ばかりあるわけではない、多少物のオ値段は高いが商店街あり、住宅街ありで、さすがに昔から名の通った街だ

ちょっと裏へ入るとへタな郊外よりもよっぽどシットリと落着いた風が漂っている

さて、まず第一歩を一ッ木通りを中心として踏み込んでみようちょっと引っ込んで一段高く鎮座ましましている一ッ木不動尊、それから更に高台になって、山王さまを眼と鼻のさきに窺める見晴しの いいところが 沢潟屋（おもだかや）市川猿之助の邸宅だ、薄い煉瓦色の長いコンクリート壁に「喜熨斗」と簡単に書いたガラスばり灯入りの表札と「市川猿之助一座稽古場」の木札が掛っているだけの外観だが、中は四百坪の広さで、芝居の初日の 夜など長唄の つゞみや太鼓の音などが床しく流れて来てあたりの住人たちの耳をたのしませてくれる、猿之助は大変な愛妻家で、夫人が病気の時などは楽屋から何回も何回も電話をかけて慰めるんだそうだ、勿論ふだんはクルマでお揃いでスーッとお出かけ、夜もスーッとお帰りなので、近所の衆は余り彼の顔をタダでみることが出来ないと不マン顔だ



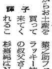
市川猿之助

「オミヤカッテキテネ」

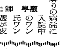
猿之助 沢潟屋に可愛がられる旭輝子の坊や

◇猿

之助邸とコの字に並んでいるのが旭輝子の家コッチはもう五年になるというからこの辺ではちょいとした古顔、彼女の一粒種正輝ちゃんを大の子供好きの猿之助が大そう可愛がって、劇場からお土産を買って来てくれること も度々だそうだ、だから、正輝ちゃんは幼稚園に行く前は毎日のようにおばァちゃんに 抱かれて 猿之助のクルマを「ハヤクカエッテキテネ、オミヤゲカッテキテネ」と門の前で見送ったんだそうだ正輝ちゃんが出ていない時には猿之助の方が心配して「坊やはどうしたんだろう」と女中さんに聞かせて寄越すというから、猿之助ファンには羨しいようなラッキー坊やである、この坊やの叔父さん、つまり旭輝子の弟杉狩組はNDTの研究生であるさらにNDTでは一ッ木通りの犬猫病院の隣りが六期生で日舞のうまい土師早恵の家、愛称をペッコというが、隣りの病院に入院中のワン氏ワン嬢が夜中にキャンキャン泣くので眠られない夜があるそうナ、斜め向いに大きな鰻屋があって、いゝ匂が四六時中プンプンしているワリにペッコの背が伸びないのはどういうワケだろうと街の雀が囀っていた



旭輝子



土師早恵

新人山脈



SKDからついこの間東宝入りした、つまり引抜かれる素質を持った上玉なのだ 人兄妹の末ッ子で昭和九年八月廿七日生れだから未だ廿歳と九ヵ月の若さなのだ、しかし正式に映画入りしたからには、「娘役以外でも何でも一生懸命にやりたいの」と丸い眼玉をクルクル動かして颯爽といゝきる、どうしてなかなかの度胸である、しかも崇拝しているのが川路竜子と高峰秀子で、ゆくゆくは高峰さんのような大女優になれたらうれしいというから可愛いゝお嬢さんだ、そしてその口ですぐアンミツをペロリときた…現住所墨田区墨田町一の一一七一藤本アパート内、本名佐藤幸子

といえるのだろうが肝腎の彼女は至極ノホホンとしてケロケロ笑ってばかりいる、それもそのはず六

白鳩眞弓

（映画）

映画やぶにらみ

出色の合作映画

「蝶々夫人」＝日伊合作

▽…長崎の空にフジヤマが見えたり、女中が振袖でサービスするようなこともなく、日本風俗や筋の運びも極めて自然に描きこなしている、音楽的なテンポや抑揚もよく、その劇的な流れを把握して聞然するところがない、この合理性はどんなオペラ嫌いにも理解される程の大衆性を生んでいるといえよう、日伊双方のスタッフと出演者がこのオペラを音楽的によく理解している結果で、今までに見られない渾然たる合作映画といえるだろう、いってみればよく計算され精巧にデッチ上げられた合成オペラで、実際には歌わない八千草薫（蝶々夫人）がこの曲の全パートを暗譜した上、イタリア語の唇動を巧みに操りながら顔の表情や動作など演技の点でも見事な 出来栄えで破綻が なかった、また伊太利オペラ界でも有名なリドンの領事シャープレスはじめフォラクリティのピンカートンなど歌、演技共に好演、すずき役の田中路子は歌を大分少くしてあるが役柄を強調して好演である

▽…一体今回は終幕に近くピンカートン、シャープレス、すずきらの重要な二重唱はじめ歌を大分割愛して歌唱の点では大分厚味がなくなっており、また有名なアリア「ある晴れた日…」を縁先や庭先でなく室内で歌い、また舞台的には優婉な見せ場ともなっている「花の二重唱」が室内でなく庭で進められるなど、大分オペラの場合とは異っていてオペラとしては物足りぬ個所もある、そうかといってこの作品にはカメラ・アングルや色彩で映画的にビックリするような手法も見られない、たゞあくまでも行届いた精巧さが底光りしているようだ、色彩的には最初のピンカートンと蝶々さんの甘美な愛の二重唱のある夕闇の調子などが印象的である（寛）



【写真はその一場面、八千草薫㊨と田中】

ステージショウ

越路にふくらみ

（ランデブー・タイム）（日劇）

▽…越路吹雪ショウとしては彼女自身の芸の上にふくらみが出て来たのがなによりの収穫、たゞし各個景の比重が彼女にかゝり過ぎているのがかえって仇となり、軽妙な味を見せる面が足りなかったのは作・構成（佐藤一郎）の責任か、もともとがコンサート用に構成されたものの引伸しだけに、小味を利かせればもっと面白くなったような場面が多いのは当然だろう

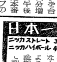
▽…面白いのは「五月の街」の浮かれ娘の（越路）と浮かれ青年（武井義明）のかけ合い「稽古場にて」の越路の歌う「メケメケ」或いは「饗宴」の誕生日の歌など、越路が少し肉がついて来てこれまでのような痛々しい感じがなくなったのが安心して見ていられる素因、これでもっと彼女の荷を軽くしたら、たのしいものが生れて来そうだ

▽…文字通り越路のワン・ウーマン・ショウで他は引立役に過ぎないが、中では武井の素直さとコンデ、森、キーコ、福井、井出、シュルツらによるオール・スター・デキシー・ランダースの演奏がたのしめた、また県洋二の振付ではやはり旧作の再演ながら黒い馬の踊りがいい、真木小太郎の衣裳、装置も上乗、佐藤一郎作詞、松井八郎作曲の国産歌曲をフンダンに使っているのはいゝことだが、これといって 印象に残るの は少ない、六月三日まで（橋）



【写真はその一場、越路吹雪（左）と清水秀男】

はと笛



▽…大映「娘の縁談」に主演している南田洋子はこの作品では菅原謙二、根上淳、若尾文子といったところを脇役に回して一人芝居の作品なので大張切りなのだが…

▽…それだけに木村恵吾監督からいろいろと駄目が出る、つい先日もメシ休み前にセリフを台本で三頁分増やされて午後から早速本番となった、そこで食事もセリフの暗記に大童だったのだが、口をモグモグさせながら「私、あんたが好きになったらしいのよ、それで…モグモグ」なんて、まったくこの娘に少々縁談は遠いお話のようなもの

【写真は南田洋子】

名選 都々逸

石井きんざ選

見て見ない振りの出来ないあたしの意地は　お江戸生れのせいかしら　大塚・栄

待つ身のつらさにまた見る時計　どうして針がこう遅い　浦和・尾道通夫

貴方をこんなに迷わす狐　どんな顔している女　市川・川崎火呂志

朝は朝なり夜は夜なりに　変る女の身だしなみ　伊豆・六　可仙

【賞】旅でこんな夜は恩いのまゝに　なる気する気で消す灯り　湯ケ島・鈴木　忠彌

◇

気短か女房の売り物噺でも　恐い色が出来たと立つ噂　選者

催し　花柳美豊舞踊研究会　六月十一日（土）五時、呉服橋日本相互ホール

梢くるみのタップ研究所発表会　六月二日五時半、白木劇場

消息　松旭斎大勝はこのほど千代田区内幸町二の三、幸ビル二階双葉興行内へ奇術教室を開設

おしゃべり横丁



「つまらないワ」だってペレス夫人がいつも一緒なんですもの

—ホテルの女中

